

令和7年  
2025年

6月24日  
火曜日

第11739号

# 食肉速報

— THE DAILY MEAT NEWS —

昭和51年5月19日  
第三種郵便物認可

購読料 (前納)  
年間 82,080円  
(税込み)  
6か月 42,120円  
(税込み)

本紙は関連企業・団体との  
タイアップ企画記事を含みます

【発行所】株式会社食肉通信社  
<https://www.shokuniku.co.jp/>

東京支社  
☎101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10  
TEL03-6206-0929 FAX03-6206-0928

大阪本社  
☎550-0005 大阪市西区西本町3-1-48  
TEL06-6538-5505 FAX06-6538-5510

九州支局  
☎812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12  
TEL092-271-7816 FAX092-291-2995



全国食鳥生産衛生の全国大会が徳島で開催された……P5

- ▶ 日本食肉協会が総会開催、布川会長「食肉協会全体で業界を盛り上げていく」……P2
- ▶ [POSランク5月ソーセージ製品]「シャウエッセン」が首位……P2
- ▶ [USDA需給予測]25年食肉生産総年計は、0・2%減、26年は0・1%増……P3
- ▶ ハム組合東海支部が総会、7年度事業計画など上程全議案を原案通り可決……P4
- ▶ 日昌トレーディンググループの昌栄が、守谷本社の新工場竣工式を挙げる……P4
- ▶ 全国食鳥生産衛生の全国大会が徳島で開催……P5
- ▶ 石垣牛流通協議会が通常総会、「首都圏の販売をより一層強化していく」植村会長……P6
- ▶ 農畜産業振興機構、食肉販売動向調査⑥「量販店と専門店 畜種別販売量の増減」……P6~7
- ▶ 福岡食肉市場、山本三男副社長が社長へ就任……P7
- ▶ 名古屋食肉市場が定時株主総会と臨時取締役会を開催、新体制を発表……P7
- ▶ 6月の米フィードロット飼養頭数は前年比1%減の1144万2千頭……P7
- ▶ 【輸入副生物現物相場】……P8
- ▶ ウェンディーズ・ファーストキッチン100%ビーフパティのうまみ引き立つ「ロコモコバーガー」など6種登場……P8
- ▶ ソーセージ製品5月 POS売れ筋品目 ベストランキング月次……P9
- ▶ [東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数]23日……P10
- ▶ [各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場]23日……P11

## 注目のヘッドライン

### 日本食肉協会が総会開催、布川会長「食肉協会全体で業界を盛り上げていく」

一般社団法人日本食肉協会(布川勝一会長)は22日、東京都文京区のホテル東京ガーデンパレスで令和7年度定時総会(第65回)を開催した。

…詳細はP2

### ハム組合東海支部が総会、7年度事業計画など上程全議案を原案通り可決

…詳細はP4



**Nipponham Group**  
たんぱく質を、もっと自由に。

## 食肉施設の設計・施工・コンサルタント

— 食肉業界をリードする —



〒110-0016 東京都台東区台東4-20-5  
☎03-3834-1561(代) <https://hanaki-eng.co.jp/>

## 日本食肉協会が総会開催 布川会長「食肉協会全体で業界を盛り上げていく」

一般社団法人日本食肉協会(布川勝一会長=写真)は22日、東京都文京区のホテル東京ガーデンパレスで令和7年度定時総会(第65回)を開催した。6年度事業報告や7年度事業計画などの上程議案は全て原案通りに承認。また、総会に先立って事業推進委員会および理事会も実施された。

総会では布川会長が冒頭、「地政学リスク、物価高、米国の関税引き上げ措置による世界経済への影響が懸念される中、昨年度は計画されていた事業をほぼ完遂することができた。特に、6年ぶりに実施された海外視察ではシンガポールを訪れ、プライスレスな経験を得ることができた。不透明な状況に変わりはないが、今後はいままで以上に交流を図り、会員個々、そして協会全体として活発に行動し、業界を盛り上げていくよう、研さんしていく」とあいさつ。

さらに、来賓を代表して農水省畜産局食肉鶏卵課の香川仁志課長補佐は「消費者の生活防衛意識の高まりを受け、和牛は厳しい状況が続いている中、最近はまだ厳しいとはいえ昨年よりも明るい兆しがみえ始めている、消費や生産の良いサイクルを回していきたい」と祝辞を述べた。

今年度における事業計画としては、前向きかつ柔軟な発想で情報の発信、交流を心掛しつつ、全国食肉事業協同組合連合会をはじめとする関係諸団体と連携し、和牛肉の需要拡大、食肉販売業の活性化、経営の合理化を図り、それによる食肉の生産振興、流通合理化、消費者の食生活の利便性、健康増進に寄与することを目的に、事業を実施する。具体的には、①食肉小売機能高度化推進事業②食肉流通改善研究事業③食肉検定事業④後継者育成・食肉通

信教育事業⑤食肉情報等提供事業⑥食肉関係製品あつせん対策—に取り組む。

総会実施前の推進委員会では、各ブロッ



クによる活動報告などが行われたほか、先進地視察についても話し合われた。日本でインバウンド需要の重要性が高まる中、世界一の観光客数を誇り、地域ごとの個性的な食文化が主な観光目的ともいえるフランスが、今年度の視察先の候補となっている。スペインとの国境をまたがるバスク地方のほか、ボルドーなどを視察地とする予定だ。なお、令和8年度には世界的にみても牛肉消費量の多いアルゼンチン、ブラジルでの視察が検討されている。

今後のスケジュールに関しては、8月24日に先進地食肉事情調査検討会、7~10月頃に全国各地でのブロック会議、11月16日に全国会議および事業推進委員会、2026年2月7日に食肉流通戦略検討会—が予定されていることを発表。そのうち全国会議については、主テーマを「食肉流通の課題とその対応」、サブテーマを「肉屋で人を幸せにする! これからの消費拡大のために」として、東京都の上野精養軒で開催される予定となっている。

総会後には、布川会長のあいさつに続き、公益社団法人全国食肉学校の小原和仁学校長による乾杯の発声で、懇親会が開かれた。

## 【POSランク5月ソーセージ製品】「シャウエッセン」が首位

(株)KSP—SPが全国食品スーパーマーケットから独自に収集した5月POS/ソーセージ製品売れ筋ランキングによると、日本ハム「シャウエッセン」(117g×2)が首位だった。

2位はプリマハム「香薫あらびきウインナー」(90g

×2)、3位はプリマハム「香薫あらびきウインナー大袋」(550g)、4位は伊藤ハム「グランドアルトバイエルン」(127g×2)、5位は丸大食品「燻製屋熟成あらびきポークウインナー」(90g×2)だった。対象店舗1043店舗の総販売金額は12億6007万3692円。

## [USDA 需給予測] 25 年食肉生産総年計は 0・2%減、26 年は 0・1%増

米国農務省 (USDA) は現地時間18日、食肉などの需給予測 (表参照) を発表した。それによると、2025年の食肉生産総量は前年割れの1074億1400万ポンドとなった。食肉別にみると、牛肉の年間生産量は下方修正されて263億5800万ポンド (前年比2・3%減)、豚肉は前月発表時と変わらず279億9600万ポンド (0・7%増)、ブロイラーは上方修正されて475億8千万ポンド (1・2%増)。1～3月の食肉生産総量は263億6900万ポンド (前年同月比0・6%減) と上方修正されたが、4～6月は264億4300万ポンド (0・7%減)、7～9月は270億6500万ポンド

(0・1%増)、10～12月は275億3700万ポンド (0・4%増) と下方修正されている。

26年の総量は1075億2900万ポンド (0・1%増)。1～3月は264億400万ポンド (0・1%増) の予測となった。

25年の牛肉の輸入量予測は、米国内での予想を超える需要の高さにより、前月発表時から引き上げられた。また、同年の輸出量も上方修正されており、海外での米国産需要が予想を上回っていることがうかがえる。

米国の食肉需給予測 (6月18日現地公表)

		24年	25年予測	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	26年予測	1-3月
生産量	牛肉	26,984	26,358	6,543	6,510	6,665	6,640	25,275	6,240
	(前年比)	100.1%	97.7%	99.8%	96.3%	98.3%	96.5%	95.9%	95.4%
	豚肉	27,789	27,996	6,956	6,760	6,880	7,400	28,370	6,980
	(前年比)	101.8%	100.7%	98.1%	100.7%	101.5%	102.7%	101.3%	100.3%
	ブロイラー	46,994	47,580	11,565	11,815	12,125	12,075	48,100	11,800
	(前年比)	101.3%	101.2%	101.2%	101.4%	101.0%	101.4%	101.1%	102.0%
	羊肉	134	137	34	36	33	34	132	33
	ターキー	5,121	4,806	1,146	1,190	1,220	1,250	5,080	1,215
合計	107,625	107,414	26,369	26,443	27,065	27,537	107,529	26,404	
(前年比)	100.7%	99.8%	99.4%	99.3%	100.1%	100.4%	100.1%	100.1%	
市場価格	チョイス去勢牛	187.12	221.51	205.02	226.00	226.00	229.00	228.50	227.00
	(前年比)	106.6%	118.4%	113.3%	119.9%	119.4%	120.7%	103.2%	110.7%
	生体豚	63.41	67.40	63.59	69.00	74.00	63.00	64.00	63.00
	(前年比)	108.2%	106.3%	110.2%	102.5%	112.7%	100.2%	95.0%	99.1%
	ブロイラー	129.4	133.7	130.8	136.0	134.0	134.0	135.5	134.0
	(前年比)	104.0%	103.3%	102.2%	103.0%	105.2%	103.1%	101.3%	102.4%
ターキー	93.7	116.0	94.8	118.0	125.0	126.0	121.3	115.0	
輸出入量	牛肉輸出	3,003	2,708	713	690	650	655	2,470	630
	(前年比)	98.8%	90.2%	97.3%	88.2%	88.4%	87.0%	91.2%	88.4%
	牛肉輸入	4,635	5,187	1,482	1,325	1,220	1,160	5,025	1,375
	(前年比)	124.4%	111.9%	123.9%	130.9%	100.8%	95.2%	96.9%	92.8%
	豚肉輸出	7,115	6,948	1,783	1,690	1,650	1,825	7,000	1,780
	(前年比)	104.3%	97.7%	98.9%	95.8%	98.4%	97.5%	100.7%	99.8%
	豚肉輸入	1,148	1,105	280	285	265	275	1,140	290
	(前年比)	100.5%	96.3%	94.0%	97.9%	96.7%	96.5%	103.2%	103.6%
	生体豚輸入	6,762	6,609	1,774	1,675	1,570	1,590	6,470	1,740
	(前年比)	100.3%	97.7%	101.5%	96.6%	98.2%	94.5%	97.9%	98.1%
	ブロイラー輸出	6,724	6,588	1,628	1,610	1,645	1,705	6,670	1,645
	(前年比)	92.6%	98.0%	95.0%	98.7%	98.4%	99.9%	101.2%	101.0%
ターキー輸出	486	405	95	95	100	115	435	100	
(前年比)	99.2%	83.3%	86.4%	79.8%	75.2%	92.7%	107.4%	105.3%	

単位: 量は百万ポンド、価格は牛・豚は百ポンド当たりドル、家禽はポンド当たりセント

## ハム組合東海支部が総会、7年度事業計画など上程全議案を原案通り可決

日本ハム・ソーセージ工業協同組合東海支部(杉本豊繁支部長)は18日、名古屋市中村区の名古屋マリriottアソシアホテルで令和7年東海支部通常総会を開催。議事では7年度事業計画など上程全議案を原案通り可決した。

冒頭、杉本支部長は「最近の世界情勢はややこしいが、皆さんの商売に影響が及ばなければよいと思う。当社も3カ年、5カ年と計画を立てているものの、計画通りにいくかどうかは分からない。われわれは結果で判断される。評価するのは地域の顧客だ。素晴らしいと評価されるか、駄目だといわれるか、商売人は世の中がどう変わろうかやることは常に同じ。難しい情勢だが、少しでも顧客に喜ばれるよう努めたい」とあいさつ。

杉本支部長を議長に進められた議事では、令和6年度事務・事業報告、同収支決算報告・監査報告、7年度事業計画、同収支予算、同組合費賦課徴収方法、役員選出について審議し、いずれも原案通り承認。役員では常務理事として佐藤勇二氏、監事として吉野裕彦氏が新任された。

議案審議終了後、来賓として日本ハム・ソーセージ工業協同組合総務部の武内祐司部長が「トランプ関税により世界情勢は混乱しており、対米交渉について



も注視されている。原料コストの高止まりで価格改定が行われる中、賃金上昇が進まないため、節約志向は強まる一方だ。食肉加工業界も消費者に選ばれるよう、価値創造が求められる」

日本ハム・ソーセージ工業企業年金基金の三船寿男常務は前回開催の万博からの歴史を振り返りつつ、「高度経済成長やバブル崩壊、アベノミクスに至るまで失われた30年だったが、コロナ禍やトランプ政権の誕生により、先行き不透明感が強く、インフレの時代に突入した」など、それぞれの立場から祝辞。続いて各社の役員代理者が現況報告を含めてあいさつし、小憩の後に懇親会が開かれ、近況について情報交換などが行われた。

## 日昌トレーディンググループの昌栄が 守谷本社の新工場竣工式を挙行

ソーセージ用天然腸の輸入と加工・販売を行う昌栄(関道康社長)は20日、茨城県守谷市で本社工場の竣工式を挙行了。日昌トレーディングの関旭彩社長らグループ関係者、日本ハム・ソーセージ工業協同組合の角一健二郎理事が玉串をささげた。関道康社長はあいさつで「1999年の創業以来、26年間ここ守谷の地で時を刻んできたが、関係者の皆さんに支えられ、新社屋を建設することができた。HACCP対応など衛生管理はもちろんのこと、環境に優しく、災害に強い工場で、関東、東北への営業拠点となる。日本国内は少子高齢化、物流の2024年問題など課題も山積し、海外に目を向ければ、中東情勢も緊迫を

極めているが、この竣工式を機に社員一同気持ちを新たに精進していく」と述べた。



## 全国食鳥生衛連の全国大会が徳島で開催

全国食鳥肉販売業生活衛生同業組合連合会(鈴木章夫会長=下写真)は6月22日、徳島市のJRホテルクレメント徳島で第49回となる全国大会を開催した。2022年の横浜大会以来、3年ぶりとなる今回は、コロナ後としては初の全国大会であり、今回も全国から大勢の会員が参集。会員の永年の功労に対する表彰式などが華やかに執り行われた。また、全国大会の前には通常総会が行われ、全議案が原案通り承認された。

会の冒頭、田中靖章副会長が登壇し、出席者への謝意を述べた後、開会の辞を宣言。「昨今、米の値段が昨年と比べて2倍になったと報道が出ているが、われわれの食鳥業界においても相場は急速に上がっている。こうした中、適正な利潤を乗せて消費者に届ける。それを広く理解していただくというのもわれわれの使命だと思う。日々、お客様に接している皆さまは、改めてそうした部分を深く掘り下げて、業界を盛り上げていただきたい」とあいさつ。

続いて開催県を代表して辻貴博・徳島県食鳥肉販売業生活衛生同業組合理事長が「米国がイランを攻撃したという報道が出ているが、ウクライナ危機以降、世界秩序が非常に不安定になっている。その影響もあり、私たち食鳥企業だけでなく多くの事業者の方がたも資源の高止まりなどに苦慮している状況だ。食鳥生活衛生同業組合でも、新たなメニューの提案や、ブランド化への取り組みなど、会員一同が多くの知恵を出し合い、もっと強い業界にしていきたい。徳島県には非常においしい産物が豊富にある。阿波尾鶏はもちろんだが、ハムや牛肉、農産物もおいしい。ぜひ、徳島の食を楽しんでいただきたい」と歓迎の辞を述べた。

続いて、登壇した鈴木会長は「食鳥肉生活衛生同業組合は、戦後の復興・混乱期を経て国の指導の下、昭和35年に設立された。3年以上にわたるコロナ禍を経て、消費は回復している面もあるが、海外紛争のあおりを受けて、円安や原料高騰による諸物価の値上がりはとどまるところを知らない。消費者の節約志向は日々高まっており、厳しい経済環境は続いている。最近の鶏肉の相場急騰の形成要因については、動向を注視していきたい。現在、鶏肉は年齢層に関



係なく、健康食品として幅広く認知されている。また、他畜産物と比較して相対的に割安であることから、国民の食生活向上への貢献は大きく、特に総菜・加工品などは順調に市場が拡大している。四国は鶏肉の産地として有名であり、関東に向けての出荷も増えている。特に阿波尾鶏は地鶏の中で安定した品質を維持し、トップクラスの流通量を誇っている。四国はかんきつ類も有名だが、美味しい鶏肉をもっともっと販売してほしい」と激励した。



その後、各表彰が行われ、厚生労働省健康・生活衛生局長表彰を磯田聖規(東京)、辻貴博(徳島)、丸本敦(徳島)の3氏が受賞。また、(一社)全国生活衛生同業組合中央会理事長感謝状を宮本大介(愛知)、津村佳彦(大阪)、全国食鳥肉販売業生活衛生同業組合連合会会長表彰を樋口和(東京)、谷口忠良(愛知)の各氏が受賞し、それぞれ表彰を受けた。会の終了後は、会場を移して懇親会に。徳島の産品を用いたさまざまな料理が供されたほか、阿波踊りのパフォーマンスなどが会場で披露され、歓談が弾んだ。

なお、全国大会に先立って開催された全鳥連の通常総会では令和6年度の事業実績報告と今年度予算案などが報告・審議され、全議案が承認された。総会のあとの意見交換会では、これまでの販促キャンペーン方法についての提案や、組合の会員数維持・新規会員獲得に向けた施策など、各支部から多くの意見が挙がり、活発な論議が交わされた。

## 石垣牛流通協議会が通常総会 「首都圏の販売をより一層強化していく」一植村会長

石垣牛流通協議会は20日、東京都内で2025年度通常総会を開催し、24年度事業報告、25年度事業計画案および収支予算などの上程議案を承認した。また、役員改選では、植村光一郎会長(下写真)らを再任した。

25年度事業計画案では、①共同生産出荷に関する協議②流通、販売などの検討および実施③トレーサビリティ検討会会議の実施④積極的な啓もう活動の実施⑤地産地消の支援事業参加⑥生産拡大委員会の実施⑦SDGsの研究会参加一などが示された。

開会に当たり、石垣市の中山義隆市長(代読)が「石垣市においても、消費が低迷している現状、販路開拓は非常に重要な課題であると認識しており、このような状況を打開するため、国内市場における販路開拓にさらに力を入れることを基本としながら、海外市場への輸出についても注力している。近々、八重山食肉センターの回収工事も完了見込みであり、スムーズな認定取得ができるよう取り組んでいる。今後もJA石垣牛のブランド価値向上や消費拡大に向けて、一層の連携と努力が求められるため、皆さまの理解と支援を心よりお願い申し上げます」とあいさつ。

続いて、同協議会の植村会長が「石垣牛において、今期は、1100から1200頭の目標をもって生産に当たっていただくので、首都圏の販売についてはより一層強力に進め、消費者に訴え、また、プロモーション活動にも尽力していきたい。販売促進に努め、石垣

牛だけでなく、地元の農産物なども含めた石垣フェアも行っていきたい。価格の維持には、需給関係が非常に需要だ。生産者が打ち出した生産目標に対し、われわれも販売量をもって応えるため、需要を掘り起こしていかねばならない。当協会



も5年目となるが、皆さまがたの協力により、流通協議会は発展してきた。今後も、育て、新しいものを作っていくながら、消費者の方がたに喜びを与えていきたい」と語った。

来賓では、自民党幹事長代理の西銘恒三郎氏、JAおきなわの前田典男理事長、農水省の伊藤大介課長、農畜産業振興機構の天羽隆理事長、中央畜産会の姫田尚副会長が祝辞を述べた。

総会后、家畜改良事業団の佐々木整輝氏による「官能評価値に基づく牛肉の客観的食味評価法の構築と成分値からの推定方法」をテーマとした記念講演が行われ、さらにその後は場所を移し、生産者と関係者らによる交流会が開かれた。

## 農畜産業振興機構、食肉販売動向調査⑥ 「量販店と専門店 畜種別販売量の増減」

24年度下半期の量販店における食肉販売量の増減割合について、前期(24年度上半期)との比較で、和牛および国産豚肉は「増加」が多かった一方、乳用牛および輸入牛肉は「減少」が多かった。なお、それ以外の区分では「同程度」が最も多かった。特に、和牛で55・0%、国産豚肉で45・0%が「増加」となっており、その増加割合をみると、和牛は「5%未

満」が最も多く、1割が「20%台」と回答し、国産豚肉は「5%未満」「5~9%」「10%台」が同率で最も多かった。増加理由については、和牛は「販促強化」が最も多く、次いで「他畜種/品種との需要シフト」となり、国産豚肉は「輸入品との需要シフト」および「販促強化」が最も多かった。

一方、輸入牛肉で70・0%、乳用牛で61・6%が

「減少」となっており、その減少割合をみると、いずれも「5%未満」が最も多かった。減少理由については、輸入牛肉は「値上げによる影響」および「原価高」、乳用牛は「値上げによる影響」および「販促減少」がそれぞれ最も多かった。

24年度下半期の食肉専門店における食肉販売量の増減割合は、前期(24年度上半期)との比較で、全ての区分で「同程度」が最も多い中、和牛、交雑牛、乳用牛、国産豚肉、国産鶏肉はそれぞれ「増加」が「減少」を上回った一方、輸入牛肉と輸入豚肉は

「減少」が「増加」を上回った。増加理由については、和牛は「販促強化」、交雑牛、国産豚肉、国産鶏肉は「消費者の低価格志向」、乳用牛は「景気の状態」および「輸入との需要シフト」がそれぞれ最も多かった。また、「その他」のとした回答では「年末年始やクリスマスの需要期があるため」という理由が多くみられた。

減少理由については、輸入牛肉は「原価高」、輸入豚肉は「原価高」および「値上げによる影響」がそれぞれ最も多く挙げられた。(連載続く)

## 福岡食肉市場、山本三男副社長が社長へ就任

福岡食肉市場はこのほど山本三男副社長が代表取締役社長に就く新たな役員人事を発表した。6月13日に開かれた定時株主総会と取締役会で承認さ

れ、吉田満社長は代表権のない取締役会長に、管理部門を管掌する吉田晃取締役が常務取締役に就任している。

## 名古屋食肉市場が定時株主総会と臨時取締役会を開催、新体制を発表

名古屋食肉市場(株)は5日、第67回定時株主総会ならびに臨時取締役会を開き、新役員を選出した。新たな役員体制は次の通り。

代表取締役社長 成田英樹▽専務取締役(道南支店長兼務) 藤村弦良▽取締役 橋本真司(新

任)、白井尚、杉本豊繁、宮田実、佐藤剛、堀田光政、鈴木義正、佐藤正憲、小熊雄介(新任)▽監査役 大矢知哲也、久松克典(新任)

なお、杉本拓也取締役、周藤健二取締役、大井健司監査役は退任した。

## 6月の米フィードロット飼養頭数は前年比1%減の1144万2千頭

米国農務省(USDA)が公表した6月1日現在の牛フィードロット飼養頭数(1千頭以上収容)は1144万2千頭と前月より6万6千頭増加したが、前年同月からは1%減少した。州別の飼養頭数は表のとおり。導入頭数をみると、5月は前月より27万3千頭増加し188万6千頭となったが、前年同月比では8%減少した。導入頭数を体重別にみると600ポンド未満が33万5千頭、600~699ポンドが27万5千頭、700~799ポンドが45万頭、800~899ポンドが51万6千頭、900~999ポンドが23万頭、1千ポンド以上は8万頭となった。

また、5月の出荷頭数は175万8千頭と前月よ

り6万7千頭減少し、前年同月からも10%減少した。

単位:頭数は千頭、割合はパーセント

州	2024/6/1	2025/5/1	2025/6/1	前年比(%)	前月比(%)
アリゾナ	253	231	232	92	100
カリフォルニア	525	485	490	93	101
コロラド	960	960	920	96	96
アイダホ	335	335	330	99	99
アイオワ	660	680	680	103	100
カンザス	2,320	2,290	2,350	101	103
ミネソタ	105	-	-	-	-
ネブラスカ	2,480	2,550	2,560	103	100
オクラホマ	330	325	335	102	103
サウスダコタ	220	235	220	100	94
テキサス	2,840	2,590	2,630	93	102
ワシントン	245	255	260	106	102
その他	310	440	435	140	99
米国	11,583	11,376	11,442	99	101

## 【輸入副生物現物相場】 早くも猛暑日続き、需要はまちまち。相場は高値圏維持

梅雨真っ最中ではあるが、全国的には例年よりも降雨量が少ないといわれている。先週の関西圏では日中に35度Cを超えるような「酷暑日」が続き「雨が少ないので、早めに焼き材のフェースを入れ替えて、BBQセットなどを増やしてみたが、暑さが予想以上でBBQや焼き肉などの需要・引き合いも逆に落ちていくとを感じる」(大手量販店)という声も挙がった。焼き材については実需の盛り上がりはともかく、早めの手当てに動く企業もみられるようだ。これは、気候的な問題もそうだが、ロシア・ウクライナ紛争に続き、イランと米国の緊迫化など国際情勢がさらに不安定感を増しており、今後の物流に不安が増大してきていることも一因になっているようだ。そのため、焼き材は夏場に向けて全体的に一段高の見込み。特にアウトサイドスカート、ハンギングテンダーは在庫水準も高くなく、上伸の気配。白物はもちあいだが、底堅い動きが続く。

【輸入副生物現物相場】				円/キロ、税抜き	
	商品名	原産地	規格	価格	気配
フ ロ ー ズ ン	牛タン	米国	グラス グラス	2500~2600	→
		豪州		2100~2200	→
		欧州		1950~2050	→
	ハンギングテンダー (サガリ)	米国	チョイス プライム	2000~2100	↑
		メキシコ		-	-
	アウトサイドスカート(ハラミ)	米国	チョイス プライム	1800~	→
		メキシコ		3100~3300	↑
	シンスカート、シックスカート	豪州	パルク	-	-
	シンスカート(皮なし)	豪州		1200~	↑
	レバー	豪州		1500~	→
	トライブ	米国		320~	-
		-	1.5UP	350~	→
	スモール	豪州	700gUP 500gUP	-	→
		米国		500	→
	ラージ	米国		650~700	↑
アキレス	豪州		680~720	→	
テール	米国		1200	→	
メンブレン	豪州		1000~1400	→	
チ ル ド	牛タン	米国	グレイン	2800~3000	→
		豪州		2500~2800	→
	牛タン(ムキタン)	米国		4500~4900	→
	ハンギングテンダー (サガリ)	豪州		-	→
		米国	チョイス プライム	2100~2300	→
	アウトサイドスカート(ハラミ)	米国	チョイス プライム	2400~2500	→
		メキシコ		3100~3500	→
			3500~	-	
			-	→	

## ウェンディーズ・ファーストキッチン 100%ビーフパティのうまみ引き立つ「ロコモコバーガー」など6種登場

ウェンディーズ・ジャパン(株)およびファーストキッチン(株) (東京都新宿区、紫関修社長) では、19日から全店で、本格的なバーガーが楽しめる「アメリカンジャーニー」の第2弾として「ロコモコバーガー」(税込890円) など、6種の新商品を発売開始した。ハワイの名物料理“ロコモコ”をイメージして開発したオリジナルソースが、100%ビーフパティやチキンのうまみをより引き立てる。また、同店では味はそのままなライトメニューとして、Jr.バーガーの商品も用意。

ふわふわなたまごに濃厚なソースやチェダーチーズ、そしてフレッシュな野菜との調和が楽しめる。さらに、12~29日の期間、Xフォロー&リポストキャン



ペーンで新商品の無料券プレゼントキャンペーンも実施している。

# ソーセージ製品5月 POS売れ筋品目 ベストランキング月次

出典:KSP-POS 地区:全国、業態:全国食品スーパーマーケット、期間:2025年5月 対象店舗数:1,043店舗 品目合計:12億6,007万3,692円

順位	メーカー名 / アイテム名	金額	数量	平均価格	金額シェア	数量シェア	販売店率
1	日本ハム シャウエッセン 117g×2	173,159,727	438,999	394.4	13.7	11.3	96.1
2	プリマハム 香薫あらびきウインナー 90g×2	148,613,920	532,339	279.2	11.8	13.7	93.6
3	プリマハム 香薫あらびきウインナー大袋 550g	80,963,134	105,620	766.6	6.4	2.7	78.0
4	伊藤ハム グランドアルトバイエルン 127g×2	42,106,894	119,234	353.2	3.3	3.1	79.4
5	丸大食品 燻製屋熟成あらびきポークウインナー 90g×2	39,363,105	139,990	281.2	3.1	3.6	70.8
6	日本ハム シャウエッセン大袋 468g	39,072,666	50,697	770.7	3.1	1.3	57.7
7	米久 御殿場高原あらびきポーク 袋 220g	29,055,390	101,616	285.9	2.3	2.6	38.0
8	伊藤ハム ポークピッツ2P 82g×2	21,640,162	62,613	345.6	1.7	1.6	61.8
9	伊藤ハム 朝のフレッシュあらびきウインナー 90g×2	20,192,000	77,483	260.6	1.6	2.0	48.6
10	フードリエ パリッと朝食ウインナー 230g	20,141,132	72,464	278.0	1.6	1.9	70.1
11	丸大食品 徳用ウインナー 450g	18,863,254	51,381	367.1	1.5	1.3	46.0
12	日本ハム 豊潤あらびきポークウインナー 90g×2	17,589,374	68,820	255.6	1.4	1.8	36.7
13	丸大食品 串フランク 36g×10	17,374,269	46,516	373.5	1.4	1.2	51.6
14	伊藤ハム 特級あらびきポークウインナー 230g	15,321,047	53,295	287.5	1.2	1.4	35.1
15	伊藤ハム まるごと美味しいフランク 300g	14,608,741	47,362	308.5	1.2	1.2	69.0
16	日本ハム グルメイdstステーキ 208g	12,014,870	34,049	352.9	1.0	0.9	51.0
17	米久 串付きフランク 32g×10	10,818,127	31,776	340.5	0.9	0.8	35.7
18	伊藤ハム ロイヤルボールウインナー 290g	9,823,081	28,565	343.9	0.8	0.7	27.5
19	フードリエ 家族の定番モーニングステーキ 153g	9,167,852	33,307	275.3	0.7	0.9	64.1
20	日本ハム シャウエッセン4種のチーズ 94g×2	8,593,902	22,668	379.1	0.7	0.6	53.7
21	プリマハム お弁当ランドタコさんウインナー 72g	8,030,313	52,682	152.4	0.6	1.4	75.6
22	伊藤ハム ポークピッツ 82g	7,675,903	36,516	210.2	0.6	0.9	64.3
23	日本ハム モーニングサーブ 160g	7,509,715	26,885	279.3	0.6	0.7	56.6
24	伊藤ハム ポークピッツ徳用サイズ 300g	7,474,450	13,349	559.9	0.6	0.3	30.2
25	丸大食品 徳用赤ウインナー 180g	7,367,285	25,007	294.6	0.6	0.6	47.2
26	シジシージャパン Vパックポークウインナー 280g	6,958,511	20,491	339.6	0.6	0.5	21.4
27	日本ハム シャウエッセン シャウスライス 3パック	6,773,480	24,733	273.9	0.5	0.6	66.6
28	日本ハム アンティエ レモン&パセリ 150g	6,608,351	18,734	352.8	0.5	0.5	64.5
29	イオントップバリュ 特級あらびきポークウインナー 260g	6,191,824	15,959	388.0	0.5	0.4	9.4
30	プリマハム ジョンソンヴィル オリジナルスモーク 360g	6,172,718	9,149	674.7	0.5	0.2	55.6
31	フードリエ あらびきソーセージステーキ 380g	6,163,989	16,124	382.3	0.5	0.4	39.7
32	日本ハム シャウエッセンチリ 98g×2	5,891,392	15,219	387.1	0.5	0.4	43.9
33	フードリエ やみつきになる辛口チョリソー 160g	5,725,791	19,676	291.0	0.5	0.5	48.5
34	シジシージャパン Vパック 皮なしウインナー 300g	5,713,114	18,913	302.1	0.5	0.5	26.2
35	伊藤ハム 特級あらびきポークウインナー 610g	5,554,564	8,336	666.3	0.4	0.2	12.6
36	日本ハム ウイニーミニ 72g	5,296,328	44,237	119.7	0.4	1.1	53.7
37	信州ハム グリーンマーク粗挽ウインナー 100g	5,258,699	19,064	275.8	0.4	0.5	48.2
38	プリマハム サラダにちょうどいいねピアソーセージ80g	5,252,612	26,162	200.8	0.4	0.7	63.9
39	丸正フーズ えびの高原 ロングサイズウインナー 220g	5,134,929	19,776	259.7	0.4	0.5	4.4
40	シジシージャパン 断然お得あらびきポークウインナー 450g	5,025,707	8,786	572.0	0.4	0.2	16.6
41	丸大食品 燻製屋ウインナー大袋 504g	4,899,634	6,396	766.1	0.4	0.2	11.5
42	フードリエ やみつきになるレモン&パセリウインナー	4,855,425	16,890	287.5	0.4	0.4	47.7
43	フードリエ やみつきになるゆかり使用ウインナー 130g	4,755,911	16,904	281.4	0.4	0.4	41.6
44	銀河フーズ チーズでるソーセージ 63g×2	4,690,267	14,989	312.9	0.4	0.4	18.3
45	日本ハム シャウエッセン 156g	4,672,753	16,358	285.7	0.4	0.4	3.6
46	信州ハム グリーンマークポーク&チキンウインナー 90g×2	4,670,755	16,667	280.2	0.4	0.4	25.7
47	伊藤ハム グルメウインナー 80g×2	4,541,375	20,774	218.6	0.4	0.5	25.9
48	プリマハム ジョンソンヴィル ベダーウィズチェダー 396g	4,538,294	6,833	664.2	0.4	0.2	48.3
49	米久 御殿場高原あらびきポーク 1000g	4,517,518	4,815	938.2	0.4	0.1	5.8
50	丸大食品 味の主演ボロニアソーセージ 280g	4,475,523	12,822	349.1	0.4	0.3	42.3

# 東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数

[東京食肉卸売市場] 6月23日  
枝肉卸売価格(瑕疵除く)(頭、1kg当たり円、税込み)

◇牛生体		5	4	3	2	1	
和牛	雌 A 194頭	高値	4,870	2,921	1,944	-	-
		安値	2,052	2,002	1,920	-	-
		平均	2,880	2,156	1,932	1,309	-
	頭数	167	24	2	1	-	
	雌 B 1頭	高値	-	-	-	-	-
		安値	-	-	-	-	-
		平均	-	-	-	1,204	-
	頭数	-	-	-	1	-	
	去 A 55頭	高値	2,706	2,195	2,036	-	-
		安値	2,052	2,055	1,959	-	-
		平均	2,193	2,112	2,001	-	-
	頭数	43	7	5	-	-	
去 B 1頭	高値	-	-	-	-	-	
	安値	-	-	-	-	-	
	平均	-	-	-	1,375	-	
頭数	-	-	-	1	-		
乳牛	雌 B -頭	平均	-	-	-	-	
	雌 C -頭	平均	-	-	-	-	
	去 B -頭	平均	-	-	-	-	
	去 C -頭	平均	-	-	-	-	
交雑牛	雌 B 24頭	平均	1,766	1,662	1,526	1,416	-
		頭数	1	5	12	6	-
	雌 C 1頭	平均	-	-	-	1,299	-
		頭数	-	-	-	1	-
	去 B 9頭	平均	-	1,536	1,531	1,423	-
		頭数	-	1	6	2	-
去 C 2頭	平均	-	-	1,358	1,306	-	
頭数	-	-	1	1	-		

	牛	豚	搬入牛	搬入豚		その他
と畜 売買	319 370	769 600	- 182.0	(競り)	(相対)	
				-	6	63

◇牛搬入		5	4	3	2	1
和 雌	A	2,289	1,646	1,542	1,380	-
	B	-	1,356	1,403	1,250	916
和 去	A	2,291	2,095	1,847	-	-
	B	-	-	-	-	-
乳 雌	B	-	-	-	1,244	-
	C	-	-	-	1,030	948
乳 去	B	-	-	-	-	-
	C	-	-	-	-	-
交 雌	B	-	1,615	1,509	1,397	-
	C	-	-	1,375	1,315	-
交 去	B	1,896	1,662	1,562	-	-
	C	-	-	1,461	-	-

◇豚		[極上]	[上]	[中]	[並]	[等外]
生体	高値	853	820	842	896	864
	安値	758	734	670	475	356
	平均	789	766	741	657	489
	頭数	( 12)	( 212)	( 155)	( 102)	( 119)
搬入 競り	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	平均	-	-	-	-	-
頭数	( -)	( -)	( -)	( -)	( -)	
搬入 相対	高値	-	-	774	764	-
	安値	-	-	774	753	-
	平均	-	-	774	756	-
	頭数	( -)	( -)	( 3)	( 3)	( -)

[大阪食肉卸売市場] 6月23日  
枝肉卸売価格(生体)(1kg当たり円、税込み) [ ]は豚規格

	5[極上]	4[上]	3[中]	2[並]	1[等外]
和 雌 A	-	2,039	-	-	-
(頭数)	( 1)	( 5)	( -)	( -)	( -)
B	-	-	-	-	-
(頭数)	( -)	( -)	( -)	( -)	( -)
和 去 A	2,394	1,990	-	-	-
(頭数)	( 4)	( 3)	( -)	( -)	( -)
B	-	-	-	-	-
(頭数)	( -)	( -)	( -)	( -)	( -)
乳 去 B	-	-	-	-	-
交雑雌 B	-	-	1,571	-	-
C	-	-	-	-	-
交雑去 B	-	1,735	1,632	1,527	-
C	-	1,629	1,616	-	-
豚	-	821	804	763	517

[全国と畜概算頭数]  
農水省統計部発表 (頭)

	6月23日	6月20日	(6月累計)
豚	56,700	51,100	935,600
成牛計	4,190	3,930	64,270
和牛雌	910	1,080	16,710
和牛去勢	1,330	760	17,460
乳牛雌	300	700	8,570
乳牛去勢	530	270	6,560
交雑雌	510	430	6,460
交雑去	610	690	8,460

[去勢牛B3・2規格 枝肉取引価格] 6月23日

	1,513円	(前日 1,506円)
東京		
大阪	1,571円	(前日 1,537円)

[豚・全農建値] 6月23日

上	中	取引頭数	市況
773円	749円	943頭	強もちあい

と畜 売買	牛 30頭	豚 80頭	牛概況	もちあい
	牛 58頭	豚 81頭	豚概況	まぢまぢ

# 各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場

[主要市場豚枝肉卸売価格] 6月23日 (1kg当たり円、税込み)

	上加重 (前日)	中加重 (前日)	と畜	上場	市況
北海道 [セ]	734 (734)	- (-)	5,726	-	もちあい
仙台 [中]	712 (736)	662 (684)	381	143	続落
栃木 [地]	- (761)	- (727)	-	-	休市
茨城 [地]	- (755)	- (740)	1,079	-	上場なし
群馬 [地]	750 (762)	658 (670)	1,842	220	続落
さいたま [中]	757 (782)	688 (774)	164	163	下押し
東京 [中]	766 (756)	741 (726)	769	600	上伸
横浜 [中]	783 (774)	749 (735)	600	612	上伸
山梨 [地]	- (-)	- (-)	102	40	休市
浜松 [地]	- (-)	- (-)	-	-	競り休止
名古屋 [中]	816 (804)	765 (758)	994	209	続伸
京都 [中]	741 (761)	718 (763)	85	79	もちあい
大阪 [中]	821 (-)	804 (-)	30	70	まちまち
神戸 [中]	- (801)	- (789)	140	-	上場なし
岡山 [地]	749 (649)	739 (612)	212	300	暴騰
広島 [中]	758 (756)	724 (724)	234	38	もちあい
福岡 [中]	791 (760)	734 (734)	392	103	急伸

注：北海道はホクレン大卸売価格で、前日の全道と畜頭数。

[日本食肉流通センター] 6月16日～6月22日  
豚カット肉 [I] (1kg当たり円、税込み、重量kg)

◇首都圏 総重量 1,377,718 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,201	1,324	1,368	1,295	77,846
うで	864	936	972	929	100,551
ロース	1,147	1,295	1,339	1,261	110,270
ばら	1,274	1,369	1,461	1,376	124,148
もも	856	895	953	895	142,566
ヒレ	1,151	1,151	1,188	1,164	15,176
セット	1,078	1,093	1,184	1,111	807,161

◇近畿圏 総重量 635,828 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,231	1,430	1,494	1,406	55,054
うで	799	902	919	882	97,289
ロース	1,200	1,296	1,398	1,292	88,451
ばら	1,285	1,377	1,449	1,372	110,437
もも	867	896	972	906	135,548
ヒレ	1,219	1,361	1,399	1,338	8,839
セット	1,144	1,191	1,260	1,197	140,210

[食鳥正肉日経相場] 6月20日  
荷受売値平均値 (kg当たり円、税抜き)

◇東京 (8社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	762	834	1,004	174
ムネ	484	535	669	194

◇大阪 (2社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	764	821	1,030	3
ムネ	484	526	619	4

[農水省統計情報部食鳥市況] 6月20日  
kg当たり円、税抜き

	モモ肉	ムネ肉	手羽モ	手羽サ	ササミ
高値	1,105	744	550	600	650
安値	720	510	290	360	350
平均	840	547	-	-	-

※日本食肉流通センター：①数値はすべて記載日中間（1週間分）に収集した累積データをもとに算定しており、直近1週間の状況を示している。②重量ベースでみた価格の分布。代表値は「重量中央値」であり、参考値として「第1四分位値」「第3四分位値」「刈込み平均値」を算定。③収集した取引価格データ（単価・重量）を単価の低いものから順に並べ替えた上で取引重量を累積し、総取引重量のちょうど50%に位置する単価を「重量中央値」。最低価格から順に累積したデータを4等分し、最初の境界に位置する単価を「第1四分位値」3番目の境界に位置する単価を「第3四分位値」という。「刈込み平均値」は、第1四分位と第3四分位の間の重量ベースの平均値（加重平均値）。

食肉業界紙のパイオニア

# 食肉通信の 専門紙・誌と本

食肉業界のあらゆる情報を迅速・正確に伝えるべく、日刊、週刊、月刊の3紙を定期発行。食肉関連の情報を網羅した週刊「食肉通信」、日々のニュース速報に特化した日刊「食肉速報」、市場分析などテーマ性の高い情報を詳細に掘り下げる月刊「ミート・ジャーナル」を基幹媒体として、食肉に関する専門書籍を多数発行しております。

### ■業界動向がデータでわかる 数字でみる食肉産業

生産から流通、販売まで関連分野のデータを集積。B5判。年1回発行。

B5判 472頁 4,191円(送料別)

### ■畜産・食肉業界の動向大全 日本食肉年鑑

現状分析と将来の展望、戦略構築に必携の一冊。関係名簿、畜産・食肉需給の動向、食肉流通の動向、食肉加工品関係の売れ筋動向なども収録。年1回発行。

B5判 500頁 14,850円(送料別)

### ◆食肉販売&経営関連

## 銘柄牛肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄牛肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴など最新データを満載。

B5判 258頁 定価2,500円(送料別)

## 銘柄豚肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄豚肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴、輸出の状況など最新データを満載。

B5判 240頁 定価2,200円(送料別)

### ◆イベント

#### ■国内で唯一、 最大級の食肉総合見本市



## 食肉産業展

食のグローバル化が目覚ましい発展を遂げる中で、和牛に象徴される日本独自の食文化を守り今後の成長を促すため、多彩な素材食品、加工技術、販売手法、管理システムを一堂に集めて提案いたします。

(HP) <https://www.shokuniku-sangyoten.jp/>

お申し込みは電話かFAXで  
お近くの食肉通信社まで

# 株式会社 食肉通信社

■大阪 〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48

TEL 06(6538)5505 FAX 06(6538)5510

■東京 〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10

TEL 03(6206)0929 FAX 03(6206)0928

■九州 〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12

TEL 092(271)7816 FAX 092(291)2995

※東京事務所は2025年2月10日より上記の新住所に移転しました。電話・FAX番号も変更となりましたので、宜しくお願致します。

## 週刊 食肉通信



食肉全般の行政、業界ニュースをはじめ、新製品や食肉店経営のページ、量販店・外食、食肉組合、食肉市場などのニュースのほか、週間・月間市況や全国の食肉市場の牛・豚肉相場、食鳥相場など、国内外の生産から商社、卸、小売まで広範な情報を掲載しています。わが国唯一の食肉専門紙。

発行は毎週火曜日、ブランクカット判8~12ページ、価格は年間25,000円(税・送料込)

## 日刊 食肉速報



食肉関連に関する行政、業界の動向をはじめ、国産(牛枝肉・部分肉、豚枝肉・部分肉、プロイラー)と輸入(米国産やカナダ産の牛肉・豚肉、豪州産牛肉など)の相場市況を毎日掲載するとともに、企業情報・企業倒産など日々の業界ニュースをお届けします。

発行は月曜日から金曜日、A4判14ページ、価格は年間82,080円(税・送料込) ※軽減税率対象

## 月刊 ミート・ジャーナル



食肉の流通チャネルが多様化する中で、その時々のもっとも話題性の高いテーマを多角的視野で捉え、現場をレポート・分析。あわせて食肉・食肉製品など総業の製造・流通・販売の現場ですぐに役立つ技術情報などを掲載する月刊専門誌。

発行は毎月月上旬、B5判120~150頁、価格は年間23,100円(税・送料込)

### ◆教材&レポート等

#### ■あなたの常識を強固にする 今さら聞けない肉の常識

平野正男  
鏡見 著

肉はなぜ赤いのか、しゃぶしゃぶがおいしい理由は?など66の常識をわかりやすく解説。

A5判 152頁 定価1,500円(送料別)

#### ■~食肉のプロフェッショナルを育てる~シリーズ 牛枝肉・牛部分肉の見方 牛肉の見方を簡単図解

「牛枝肉、牛部分肉のポイント」について分かりやすくまとめた待望の入門書。

B5判 90頁 定価3,000円(送料別)

#### ■職人の技を次世代へ繋ぐ、保存版 牛枝肉・部分肉の 分割と商品化

カラー写真も豊富で、各種規格、枝肉の分割から商品化までの全てが分かる一冊。

B5判 216頁 定価5,500円(送料別)

#### ■知識を豊かにする 食肉用語事典

平成22年に新改訂した、定評のエンサイクロペディア。新訂正版は3,000語採録。

日本食肉研究会編 A5判 506頁 定価7,000円(送料別)

### ◆ステーションリー

## 食肉手帳 DIARY

毎年発行し好評をいただいている業界人必携の手帳がグレードアップ。機能性、食肉価格などの資料も充実し、日頃の業務をサポートします。名入れも可。

横9.4cm×縦14.5cm 定価990円 ※購入される冊数によって価格は変動します